

災害時のボランティア活動支援に向けて

6月5日(水)、本庁で、市社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの設置・運営などに関する協定調印式を行いました。

これまで両者が連携して災害時の支援を行う体制はありましたが、本協定締結により、ボランティア活動の実施に必要な情報を速やかに共有するなどのより具体的な確実な支援体制を構築していきます。



安全の約束を結んでプール開き

6月6日(木)、城上幼稚園で、プール開きを行いました。4人の園児が参加し、園長と「走らない」「押さない」などのプール遊びの約束を確認しました。

プール遊びでは、昨年、プールに入ることが怖かった園児も勇気を出してプールに入り、成長した姿を見せてくれました。



向田地域のにぎわい創出に向けて

5月27日(月)、センノオト(若松町)で、向田地域元気復活協議会の主催により、向田地域の活性化に取り組む関係者と市長の意見交換会が開催されました。

市長からは、向田地域の活性化に向けた市の取り組みや施策の方向性についての説明を行いました。今後のにぎわい創出に向け、活発な意見交換の場となりました。



「まちの話題」に投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。



投稿方法

- ①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
 - ③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚~3枚
- を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
メールアドレス/koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

初めての大会

6月2日(日)、この春開校した祁答院小学校で市誕生20周年・開校記念第1回春季大運動会を開催しました。

多くの来賓や保護者に見守られながら、児童たちは玉入れや徒競走などの競技に一生懸命取り組みました。また、「地域対抗綱引」では、地区のPTAと職員の全6チームが競い合い、会場は大いに盛り上がりました。



バレーボール男子ブラジル代表チームが初合宿

6月10日(月)、サンアリーナせんだいで、バレーボール男子ブラジル代表チームの歓迎式を行いました。ブラジル代表チームは世界ランキング上位で、パリ五輪出場権も獲得している強豪チームです。

今回の合宿は、FIVBバレーボールネーションズリーグ2024に向けたもので、ベルナルド・レゼンデ監督は「食事や温泉を楽しむながら練習に励み、また本市で合宿をしたい」と述べました。



ふるさと納税でまちの活性化を

5月27日(月)、令和5年度におけるふるさと納税返礼品アワードの授賞式を実施しました。

これは返礼品の中から発注実績や企画が優れた返礼品を表彰するもので、販路拡大やより良い返礼品の創出を目的としています。

最優秀賞を受賞した丸武産業(株)の紺糸威 弘二枚胴(兜)を含む8点の返礼品が表彰されました。



みんなで力を合わせた綱引大会

5月29日(水)、サンアリーナせんだいで、第17回小学校綱引競技大会を開催しました。

市内24校の小学校・義務教育学校の6年生を中心に930人が参加し、学級対抗で全42試合が行われました。審判の合図で選手は姿勢を低くしたフォームで綱を引きました。他の児童や保護者からは大きな声援が送られ、会場全体は大いに盛り上がりました。



SDGsを目指して廃棄タオルを再利用

6月11日(火)、鹿児島県美容生活衛生同業組合から市内の小・中・義務教育学校へ手作り雑巾1,020枚の寄付があり、贈呈式を行いました。

この雑巾は美容室で使用済みとなったタオルのリサイクル活用を目的としたものです。川内小学校の児童2人が代表して受け取り、「学校の掃除などで大切に使います」と感謝を述べました。



熱戦！里自治会対抗バレーボール大会

6月2日(日)、里地区で、第53回「里自治会対抗バレーボール大会」を開催しました。

当日は、藪上、藪中、藪下、村西、村東の5つの自治会が白熱した試合を繰り広げました。会場はこれまでにないほどの熱気に包まれ、藪上自治会が36年ぶりとなる優勝を飾りました。



【情報提供：里地区コミュニティ協議会】

東郷学園義務教育学校が最優秀賞受賞

6月1日(土)、県自治会館(鹿児島市)で、県PTA広報紙コンクールの表彰が行われ、中学校・義務教育学校の部で、東郷学園義務教育学校が最優秀賞を受賞しました。

今回の受賞は、9年間の教育期間の利点を活かし、1年生から9年生までの児童生徒の変容や成長ぶりがよく分かる紙面づくりが評価されたものです。



国を超えた交流を

6月3日(月)、友好都市である大韓民国昌寧郡から、団長の成樂仁郡守を始めとする韓国昌寧郡来日団13人が、本市を訪問されました。

2泊3日の行程では、川内港背後地や閉校跡地利用事業などの視察を行いました。昌寧郡とは子どもたちのスポーツ交流も行っていて、今年度も実施を予定しています。相互交流を通して、意見交換や市の取り組みを海外にも発信していきます。

